

チェルノブイリ通信

<https://www.cher9.org/>

NPO法人
チェルノブイリ医療支援ネットワーク
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-5-11-5F
TEL/FAX: 092-260-3989
E-mail: jimmu@cher9.org



チェルノブイリ医療支援ネットワーク (CMN) は、チェルノブイリ原発事故で被災した人々のために、現地から求められる医療支援を行います。この活動を通して、日本とベラルーシの人びとの心と心のつながりを深めます。

No.
124

特集 木村真三先生によるオンライン講演会

CONTENTS 木村先生の講演会 (グリーンコープ生協おおさか) /
福島県在住・伊藤さんの寄稿文 / インターン生の紹介 /
古本募金きしゃぼんのご紹介とお礼 / シンカプルのご紹介 /
支援者のお名前とメッセージ



ベラルーシの福祉工房「のぞみ21」のアレクサンドラさんとヤロスラフくん。
(左：2009年、右：2019年)

あなたもチェルノブイリを支える一人になっていただけませんか？
ご寄付を受け付けています。

本紙はチェルノブイリ医療支援ネットワークの活動を
支援して下さっている皆さまへお届けしています。
送付がご不要な場合は事務局までご連絡ください。

また団体ウェブサイトでもPDFファイルにてご覧いただけます。
<https://cher9.org/information/news/>

郵便振替口座 01770-1-65328
他の金融機関からは 一七九支店 (当) 65328
楽天銀行 ジャズ支店 (支店番号201) (普) 7017104
住信SBIネット銀行 法人第一支店 (支店番号106) (普) 1030416
※口座名はいずれも「NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク」

「放射能ってどんなもの？ なぜ、放射能が悪者なの？」

2021年8月5日（木）、グリーンコープ生協おおさか組合員の方を対象とした木村真三先生のオンライン講演会が開催されました。今回は夏休み期間中の開催ということもあり、多くの子ども達に参加していただきました。講演会の内容を抜粋し、ご報告いたします。

主催…グリーンコープ生活協同組合おおさか
共催…チェルノブイリ医療支援ネットワーク

■原発事故は福島県だけの問題ではない

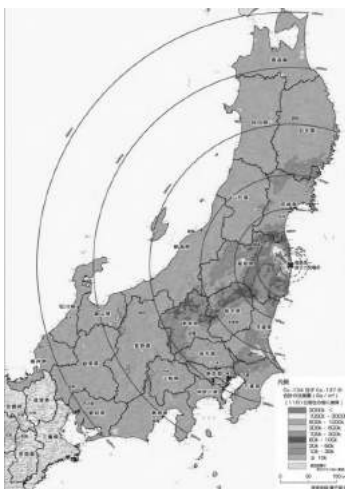
2011年3月11日に起きた大きな地震によって福島県では4つの原子力発電所が壊れてしまいました。大きく爆発したのが1号機と3号機、ちよつとだけ壊れたのが4号機。全く見た目は変わらないけれど、目には見えない大量の放射性物質が出てきたのが2号機です。放射性物質は壊れた4つの原子力発電所からたくさん出ていきました。さて、これは福島県だけの

問題でしょうか。この放射性物質はどこまで飛んで行ったのでしょうか。答えは日本中全て、そして世界中にも飛んでいきました。アメリカのカリフォルニア州でも福島から飛んで行った放射性物質が検出されました。日本中が汚されてしまったのに福島だけが取り上げられている現状はおかしいと思いませんか。一度起きてしまったことは日本だけが悪いと考えるのではなく、みんなが世界中で起きたこととして捉えて一緒に考えていかなければなりません。これが原発事故のテーマでもあります。みんな考えていきましょう。



福島県浪江町のモニタリングポスト

(2021年3月撮影)



放射線汚染地図

色がついている所はすべて汚れていて、ゼロの場所はない

■風の流れて放射性物質が広がった

2011年3月11日、これまで誰も経験したことがないとても大きな地震が起きました。地震だけでなく福島には大きな津波もやってきました。このものすごく大きな津波が原子力発電所を壊してしまいました。そこから放出された目には見えない小さな粒である放射性物質が空に広がりました。3月14日から15日にかけて少し雨や雪が降り、16日になると本降りになって放射性物質も一緒にたくさん降りました。風に乗った放射性物質は最初は宮城県へ、その後風向きが変わって東京へと3月末にかけて日本や世界中にまき散らされました。最も汚れているのが福島県なので特別視されていますが、汚れたのはみんな一緒なんです。



福島第一原子力発電所
1号機水素爆発の様子

世界で初めて原子力発電所が爆発した瞬間が映像として収められた

■放射線はどれくらいなら安全か分からない

放射線とは放射性物質から出てくるものを指します。イラストでは「ホウシャセンパンチ」と表現しています。これも目には見えませんが、でも私たちの体に悪さをします。一体どんな悪さをするのか。私たちの体に放射性物質が入ると、放射線（ホウシャセンパンチ）は細胞に傷をつけます。1回や2回では全然問題ありません。でも何度もぶつかると私たちの細胞の中にあるとても大事なものを、子どもや孫たちを作るための遺伝子が傷つくことがあります。傷ついた遺伝子は、私たちの体の中にある大工さんが一生懸命直してくれます。でも、たくさん壊れると丁寧に直せないで、適当に直してしまうことがあります。そのとき、間違った直し方をするとガンという病気になることもあります。

放射線（ホウシャセンパンチ）は目に見えませんが、そこにどまり悪さをし続けます。放射線（ホウシャセンパンチ）を出し続ける。だから私たちの体は危なくなっていくます。この放射線に晒されると死んでしまったり病気になるてしまうことは分かっていますが、少し



だったら別に悪さをしません。例えばレントゲン。レントゲンは私たちの骨を映し出してくれる写真です。目に見えない放射線は硬いものと柔らかいものを区別でき、骨が折れていないか診ることが出来ます。体に悪さをする放射線だけ私たちのためにもなりません。

この放射性物質を使って電気を作ることができないかと考えてできたのが原子力発電所。でもその原子力発電所も一回事故が起きてしまったりどうしようもなく大変なことが起きるといって危険性を後回しにして作ってしまいました。科学者もそれを作ろうと言った政治家もみんなに責任があります。

■放射性物質には今も注意が必要

放射性物質や放射線は目に見えない。どう気をつけたら良いでしょうか。それは近寄ったり食べたりしないこと。汚れた土から育った山菜やキノコには気をつけましょう。福島でも畑で育った野菜やお米は99.9%以上安全です。でも山で採れる山菜やキノコはまだまだ放射性物質を含んでいます。それを食べてしまうと体内に放射性物質



が入り込んでしまう。だから食べないでくださいね。(きちんと放射線の量を測った上で安全であれば食べても問題ありません)

■10年たっても安心して外で遊べない

福島にはモニタリングポストという不思議なロボットのようない機械があります。これは福島県の学校や公園に設置してあります。ずっと私たちを見守ってくれている、放射線

モニタリングポスト



量を測ってくれる機械です。どのくらい放射線が出ているか誰でもわかるように置いてあります。でも福島の人たちにとっては当たり前になりすぎて何のためにあるのか忘れてしまっています。だから皆に思い出してもらうために私は授業をしています。



仮置き場

2021年3月時点でまだフレコンバックが残っている

放射性物質は家や山を汚し、特に家の屋根に

たくさん降りました。雨でその放射性物質は洗い流されて雨樋の出口に溜まり、その水が側溝に落ちて放射性物質が溜まっていきました。草や木がたくさん生えているところにも放射性物質があります。そこに住んでいると体に悪く、時には病気になったり死んでしまうこともあります。そうならないようにお掃除をしました。福島では除染と言って、表面の汚れた土を剥ぎ取って袋に詰めて一箇所に集めました。

この袋が置いてある危険な場所が次々に出てきました。今はこの袋を少しずつ運び出して原発事故があった近くに中間貯蔵施設を作って、そこに危険なものは集めようとしています。

福島も事故から10年経ってだいぶ安全になってきましたが、危ないところもまだまだあります。同じ日本なのにとっても気をつけなければなりません。外で遊ぶこともできない場所があることを忘れないで。福島の子どもたちは何も悪さをしていないのにこんなに辛い思いをさせられているのはおかしいよね。だからみんなは福島の人たちが汚いとか悪いとか思わないでください。東京やその周辺の人たちが使う電気を作っていたところが爆発してたまたまそれが福島にあっただけ。辛い思いをする人たちのために何

ができるかも考えてほしいです。

■体を守るために調べるのが大切

私たちの体を守るためには調べることはとても大切です。調べる方法の1つにガラスバッジがあります。危ないところに近づいていないか住んでいないかを調べるために年に一度子どもたちにつけてもらっているものです。危ないところは家庭訪問して何が原因なのかどうしていくべきかおうちの方々と一緒に考えます。

食べ物の中含まれている放射性物質は私たちの体を汚してしまいます。体内にたまっている放射性物質の量はホールボディカウンターといって体の中の放射線を測る機械で調べることができます。一度食べてしまった放射性物質は少しずつうんちやおしっこで流れていくけれどすぐには消えません。すべて出ていくのに何ヶ月も何年もかかります。

甲状腺検査を知っていますか。甲状腺は甲状腺



腺ホルモンを作ります。この甲状腺ホルモンは心臓の動きや気持ち、ドキドキするとかをコントロールしています。福島の子どもたちは甲状腺検査を受けることになってしまいました。原子力発電所から出てきた放射性ヨウ素というとても悪い物質が甲状腺に溜まることが分かっているからです。そこに放射性物質が溜まるとガンなどの病気になる。放っておくと死ぬこともあるからです。食べ物はもうほとんど大丈夫。でも調べ続けることが大切です。

■いつか事故は起こるかもしれない

今、君たちは事故にあっていない。でも万が一起こるかもしれない。そういう世界に生きていることを忘れないでください。もし近くで事故が起きてしまった時は自分たちで正しい行動が取れるように、今日聞いたことをしっかり覚えておいてください。外で遊んで汚れてもいい。だけど帰ったらシャワーを浴びる。たくさん寝て元気に生活する。そうすれば放射性物質やコロナにも強い体になる。自分でできることはたくさんあります。これからもみんなと一緒に頑張って考えていきましょう。

質 疑 応 答

◆線量計は具体的にどんな時に使っているのですか。

福島の場合、自分たちが住んでいる場所がどのくらい放射性物質で汚されているのかを調べるために使っています。例えば、お母さんたちは子どもたちが遊んでいる場所を調べるためにも使っています。公園の汚れた土を剥がしていても、雨や雪で放射性物質が流れてきて汚染されている可能性があるからです。



◆放射性物質は目に見えないとおっしゃっていましたが、顕微鏡で見えることはできるのでしょうか。

小中学校にある普通の顕微鏡（光学顕微鏡）では見えません。光学顕微鏡は1, 300倍、500倍が限界です。専門の機関などで使われている電子顕微鏡でようやく見えるかなという感じです。

形は小さな粒で、いびつであったり丸かったりいろんな形をしています。ホコリや小さな石ころと見分けがそんなにつきません。

◆放射線は消滅することはなく、ずっとあるのですか。

放射性物質にも寿命があります。生き物じゃないのに寿命があるって不思議だね。でもこれは乾電池と同じです。乾電池をずっと使っているとだんだん使えなくなる。「あ、寿命がきた。」って言いますよね。それと同じです。生き物じゃない放射性物質にも同じように寿命という言葉が使えます。

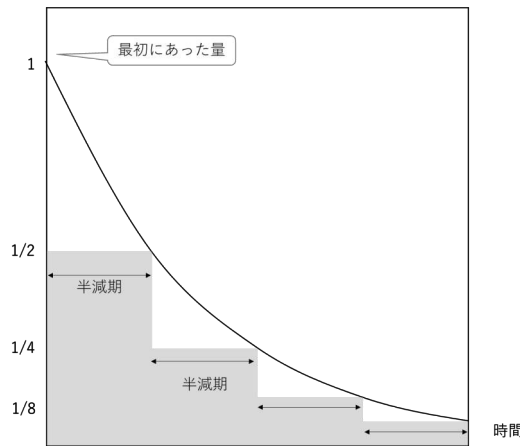
放射性物質を昆虫に例えてみましょう。セミの成虫の寿命は7日間、クワガタは2年、カブトムシは半年くらいです。同じ昆虫だけど、いろんな種類がいて寿命も違う。放射性物質にもいろんな種類があります。ヨウ素131はセミに似て寿命は8日間、セシウム134はクワガタに似て寿命は2年です。セシウム134には双子の兄弟がいます。顔も性格もそっくりで、寿命が違う。その寿命が違うのはセシウム137で寿命は30年です。

放射性物質の寿命は生き物の寿命とは違い、寿命を迎えたらすぐに死ぬ（消える）わけではありません。放射性物質の寿



命は量が減って放射能が半分になるまでの時間（半減期）です。だから全部なくなるまでにはものすごく時間がかかるんです。

2017年に小学校で放射線出前授業をしたときの話です。5年生の女の子が「先生、モニタリングポストの数値が去年と変わっていないのはどうしてですか。」と質問してくれました。減っていくはずなのにおかしい。物理学的半減期では説明できないことが出てきました。目に見えない放射性物質は山や木に降り注いで地面を汚しました。山の木の葉っぱにも放射性物質がくっつきました。葉っぱは秋になると地面に落ちます。その落ち葉は腐って土になる。その土は植物の栄養源。根っこから放



物理学的半減期のイメージ

射性物質を吸い込んでまた木に戻っていきま

す。これを何年も繰り返していくと山の木は常に汚された状況になってしまいます。放射線物質にはいつまで気をつけなければならぬのでしょうか。答えは私たちが生きていく間ずっとです。もし、君たちが小学校6年生の12歳なら、東日本大震災が起きたのは今から10年前。セシウム137は君たちが32歳になる頃に半減期を迎えます。君たちが62歳になる頃に4分の1になり、92歳になる頃でもまだ8分の1が残っています。君たちがおじいちゃんやおばあちゃんになってもまだ放射性物質は残っている。とても怖くないかい。こんな中で生活していかなければならないのが今の福島です。この説明は物理学的半減期のお話です。だから生物的半減期だと減るまでもっと時間がかかる。私たちが生きていく間に解決しないこともあるというのが放射性物質の怖さです。



浪江駅前の

モニタリングポスト

2019年3月 0.209 $\mu\text{Sv/h}$

2021年3月 0.187 $\mu\text{Sv/h}$

*放射線物質の半減期やいつまで気をつける必要があるかについては通信120号2〜4ページに掲載しています。紙面の都合上今回は詳しく掲載できないため、知りたい方は通信120号をご覧ください。

◆原子力発電所で出た放射性物質はどうやって処分しているのですか。

処分はできません。放射性物質を完全に消すことは不可能です。例えばフィンランドでは地中の中にずっと閉じ込めてその中で半減期を迎えて私たちが安全だと判断するまで置いておくという方法（地下埋蔵施設）をとっています。これを日本でやるのは少し難しい。フィンランドの地下埋蔵施設があるところは500万年地層が動いていない場所です。地震が起きない安全な場所だからできることなのです。

日本は地震大国です。だから地下埋蔵施設を作ることは不可能です。日本では地上に集めて「ここには危ないものが置いてあります」と人を近づけないように監視し続けています。このままでは何年経っても処分できない。大人たちは問題を後回しにして未来にツケを回しています。だからこの問題はみんな考えていかなければなりません。

◆ 放射性物質を溜めている場所がいっぱいになったら大阪にも来るかもしれないという話があったと思います。これは結局、放射性物質を日本中にばら撒くことになるのではないかと嫌な気持ちだったのですが、それでも場所がなくなれば全国に要請せざるを得ないのでしょうか。

受け入れざるを得ないのは事実です。でも壊れた原子力発電所にはもう二度と人は住めないでそこに溜めておくこともできません。しかし、国としては「原子力発電所は安全だ」と言いたい。だから福島だけが大変な思いをするのではなく全国で分け合おうとする。でもこれはおかしい。おかしいと声を上げることが大切です。この声を上げてもらうために、僕はこうやって活動しています。みんなで考えることができる人が増えるといいなと思います。



避難指示が解除された地域
(上: 小高市、下: 富岡町)
人通りは少なく車もまばら

◆ 放射性物質で汚れてしまったところに住んでいた人たちはどこに行ったのですか。

全国色々なところに散らばっていききました。もちろん大阪にもいます。海外に行った人もいます。住めなくなつて移動した人と、自分たちの子どもに悪影響が出ないようにと考えて自主的に移り住んだ人たちがいます。実際何人が移動したのかは分かっていませんが、おそらく4万人くらいは故郷に戻ってきていないのではないかと言われています。でも自分たちが生まれ育った場所がいいからと、原子力発電所の事故が起きた場所から近いところに住んでいる人も結構いて、約3万人いると聞いています。

■ 木村先生からのお願い

これは小学校中学年以上をメインに作ったお話です。ですので、本当の意味で正確に伝えない点もあります。まずは、子どもたちに問題に気がついてもらえるように授業をしています。揚げ足を取る人も中にはいます。でも、目的が何なのかを考えてください。

私は、将来にわたる放射能汚染の問題、差別のことなど、将来を担う子どもたちに、何をすべきか考え、行動してもらえようになればと思いますこの授業をおこなっているのです。

木村真三先生プロフィール

獨協医科大学国際疫学研究室福島分室

1967年愛媛県生まれ。放射線衛生学者。2000年北海道大学よりパーキンソン病の基礎的研究で博士号(地球環境科学)取得。放射線医学総合研究所、労働安全衛生総合研究所を経て、2011年8月より獨協医科大学准教授、同学国際疫学研究室福島分室長。

チェルノブイリ原発事故被災地ウクライナにおける健康調査の功績からジトーミル国立農業生態学大学(現ポレーシェ大学)より名誉教授号、マルゼーエフ公衆衛生学研究所から名誉博士号を授与される。東海村臨界事故の経験から、福島第一原発事故直後に現地入りして放射線量測定、サンプル採取を実施。汚染の実態を明らかにし、その様子はNHK ETV特集『ネットワークでつくる放射能汚染地図』として放映され、反響を呼んだ。

2013年より福島県在住。



* 木村先生によるオンライン講演会は8月〜12月にかけてグリーンコープ生協で開催される予定です。
* 一部の図やイラストは二本松市教育委員会のテキスト(作・絵 柚木ミサト 監修 木村真三)より引用いたしました。

原発事故の実像（飯舘村の場合）

飯舘村農民見習い 伊藤延由



いいたてふあーむへと続いていた門

2011年3月11日に発生した東日本大震災が飯舘村にもたらした被害はそれほど大きくありませんでした。村内では倒壊家屋ゼロでした。

飯舘村の被害は3月15日夕方から始まる核災害、福島第一原発事故による放射能の汚染でした。同日午前中まで風向きは陸から海へでした。午後から風向きが海から陸に変わりました。その風により運ばれた放射性物質を含んだ雲が飯舘村を覆った時雨によって放射性物質は地上に降下しました、夜半から雪になり16日早朝には10センチメートルほどの降雪がありました。

この様にして飯舘村の被害は自然現象がもたらした、原因は原発事故ですが何処に放射性物質を降らせるかは全くの偶然の所産でした。

その時から飯舘村の苦難が始まりました、前日(14日)村役場近くに設置されたモニタリングポストは15日18時頃44.7マイクロシーベルト/時を記録します。

しかしその値は菅野前村長の箝口令に寄り村民に知らせられませんでした(もつとも知らせられたとしても多くの村民は私同様その意味が理解出来なかった?)。

核災害を評価する時私は被ばくのリスクの評価だと思っています、しかし前村長は44.7マイクロシーベルト/時を村民に知らせなかったばかりか事故後被ばくのリスクを一切語りませんでした。村長が本来の仕事である村民の命と財産を守る立場で行動すれば国の避難指示の有無以前に村民の健康を考え避難させるべきでした。現に双葉郡葛尾村の松本前村長は国の避難指示が発せられる前に村民を避難させ国際人権団体「グリーンクロス・インターナショナル」から「グリーンスター賞」を授与されています。

私は菅野前村長にその賞を受けて欲しかった、実際私は事故前の村長を尊敬していました、村作りのアイデア豊富、情報の発信力、行動力など見るものがありました。

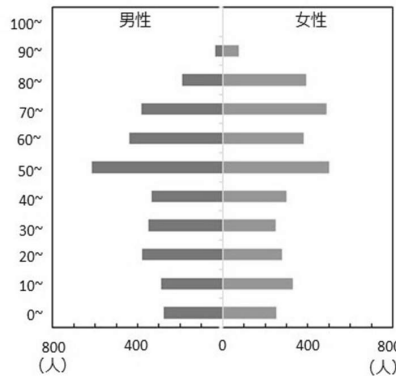
しかし被ばくのリスクについては決定的に違

飯舘村人口推移2011年⇒2021年
(原発事故に遭遇した村の
10年後の姿)

	2011年1月	2021年1月
住民登録者	6,544名	5,247名
高齢化率	28.7%	61.5%
60才以上	35.6%	74.0%

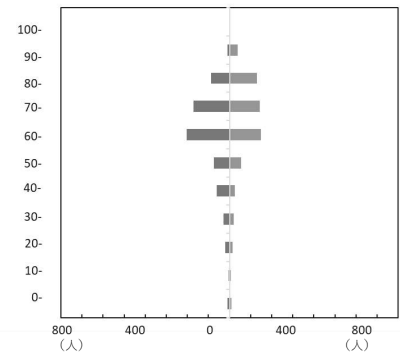
*右の2021年のグラフ対象は
帰村者1,258名

飯舘村人口推移2011年1月／2021年1月帰村者



飯舘村2010.12.28. (飯舘村資料)

住民登録者数 6,544名
60才以上の率 36.5%
高齢化率 28.7%



帰村者数 1,258名
帰村者の内60才以上 74.0%
高齢化率 61.5%
(住民登録者数 5,247名)

提供: 東京大学名誉教授 鈴木 謙氏

いがありその後退任まで理解し合う事はありませんでした。村からのお知らせで「村内自生の山菜・茸は食べないで下さい」と言うが何故食べてはいけないのか？食べるとうなるのかを知らせない。知らせなければ危険か否か？どれほどの危険なのか理解出来ない、さらに食べても直ちに健康に害が無いことや時間の経過で警戒心が薄れ日常的に摂食し内部被ばくの原因になっている、その危険性を村民に知らせるのが村長の仕事だと思ふのだ。

しかし、これは飯舘村村長のレベルの問題でなく国の政策の表れだと思ふ。

即ち事故を境にクリアランスレベル(100Bベクレル/キログラム以上の汚染物管理)の放棄、原発事故特措法では原発構内を出ると8,000ベクレル/キログラム以下にする事した、クリアランスレベルを決めたのは放射性物質は一度拡散したら戻す事は出来ないだから拡散させない為だと理解していますが国はいとも簡単に引き下げました。しかし原発構内は今も100ベクレル/キログラムの基準で運営されています、何故一般国民が原発構内の80倍

の環境が許されるのか。

もう一つは一般公衆の年間追加被ばく1ミリシーベルトを20ミリシーベルト以下にし、年間20ミリシーベルトを下回ったからと避難指示解除しました、何故福島県だけ年間20ミリシーベルトを受け入れなければならないのでしょうか？

現在訴訟進行中ですがもし認められなければ福島は20ミリシーベルトで帰還した実績が残ります、不幸にして他で原発事故が発生した時“福島は20ミリシーベルトで帰還した、だから帰還しなさい”と言われ世界の基準になりかねない。20ミリシーベルト避難指示解除はたんに福島県民の問題でないと思ふます。

事故の被災当事者になって実感した事故被害の補償、賠償の問題は余りにも理不尽、不条理なものです。

補償・賠償に当たって東電は三つの誓を公表した(株主総会でも表明)。

1. 最後の一人まで賠償貫徹
 2. 迅速かつきめ細かな賠償の徹底
 3. 和解仲介案の尊重
- としているが何れもうたい文句だった。

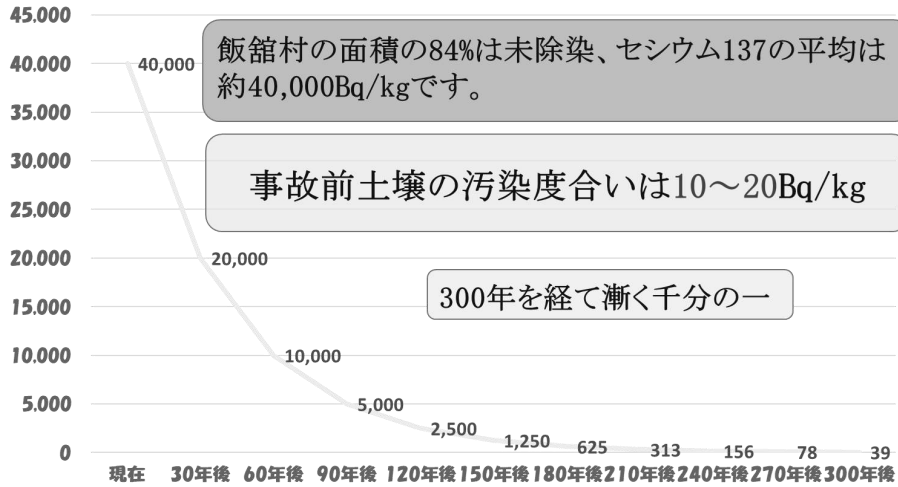
実態は、加害者が補償・賠償の諸条件(範囲、

図2

土壤減衰グラフ

単位: Bq/kg

▶ 村内未除染の面積84%の汚染濃度約40,000 Bq/kgが事故前の値(10~20 Bq/kg)に戻るまでの時間は?



期間)を決める、加害者が決めた書式でしか受け付けない、申請書類は理解しがたいほど複雑難解なものでした。

特に補償・賠償の迅速化を目的にADR(原子力損害賠償紛争解決センター)が設置され処理に当たった、しかし東電は三つの誓の「和解仲介案の尊重」をうたいながら拒否を連発しています。

他のADRは和解案拒否の場合本訴が条件になっている、その結果原発ADRでは申立人(被災者)が本訴するしかない状況です、裁判は時間と金が掛るため諦めて請求を断念している人が多いのです。

もっと理不尽、不条理な事が行政の指導で進められています、自主避難者に対する対応です。

現在福島県外に避難している方は28千人余になっています、その中には自主避難者(避難指示が無い区域からの避難者)がいます。これまでは住まいの提供、一部賠償の支払い等が行われていました、しかし避難指示が解除される都度貴方の地域は解除されたから帰還しなさいと、これまで提供されていた住居からの追い出しを始めまし

た、退去拒否すると二倍の家賃の支払いを要求しています、何故なんの責任もない被災者に懲罰的家賃を請求するのでしょうか、これが行政が行う行為でしょうか？

避難者が奪われたのは基本的人権です「安全・安心な地」、「家族と一緒に」、「地域の人たちと助け合いながら」・・・それらがいきなり奪われ元に戻す事は出来ない、これが原発事故の実像です。



プロフィール

伊藤 延由 (いとう のぶよし)

1943年 11月生まれ

2010年 飯舘村の農業研修所

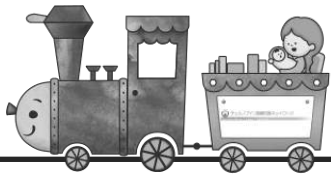
「いいたてふあーむ」の管理人に就く
 管理人の傍ら、水田2.2ha、畑1.0haを耕作

2011年 2年目の準備を目前に被災

6月末福島市内へ避難

11月「飯舘村新天地を求める会」

を立ち上げ活動



古本募金 きしゃぽん

ご支援・ご協力をありがとうございます！

読み終えた本やCDなどで募金ができる「古本募金きしゃぽん」を通じて、たくさんのご寄付をお寄せいただいております。
誠にありがとうございます。引き続きよろしく願いいたします！

◀ これまでにお寄せいただいた寄付額 ▶

◇◇ 1,023,873円 (330名) ◇◇

- ◆2017年1月～12月 78,612円 (35名)
- ◆2018年1月～12月 139,795円 (70名)
- ◆2019年1月～12月 403,362円 (97名)
- ◆2020年1月～12月 188,378円 (88名)
- ◆2021年1月～6月 213,726円 (40名)

あなたのご自宅や職場に眠るお宝が
チェルノブイリ支援につながります



その他、懐かしのおもちゃ、ブリキ玩具（昭和40年代以前のもの）、フィギュア、プラモデル、鉄道模型、洋酒、テレホンカード、商品券、切手、ハガキ、年賀状、カメラレンズ、模型、絵画、万年筆など…

クレジットカード決済・シンカブルのご案内

S Syncable

この度クレジットカードで寄付ができる“Syncable(シンカブル)”を導入しました！

チェルノブイリ医療支援ネットワークのホームページや右のQRコードからアクセスが可能です。

お手持ちの端末でお読み取りください



事務局インターンのご紹介

大学1年生、赤岩優帆さん(上段)と立石夏海さん(下段)です！
8月～9月の約2か月間、事務局で一緒に活動します♪



こんにちは。インターンに参加させていただいている赤岩優帆です。大学に入って初めての長期休みである1年生の夏休みをなんとなく遊ぶだけでなく、成長できたと思える期間にしたいと思い参加させていただいています。

今、チェルノブイリ通信を1号から最新号まで読んでいる途中なのですが、知らないことばかりで、自分が無知であることを痛感しました。これからも多くのことを学び、考え、行動できるようになりたいです。



こんにちは、インターンに参加させていただいている立石夏海です。私は環境問題に興味があり、エネルギー利用や原発事故の現状について理解を深めたいと思ったので、今回チェルノブイリ医療支援ネットワークさんでのインターンシップ参加を決めました。

過去に発行されたチェルノブイリ通信を読んだり、講演会に参加したりと、まだインターンシップは始まったばかりですが、すでに様々な経験をさせて頂いて、毎回刺激を受けております。二ヶ月間頑張ります。よろしくお願い致します。

たくさんのご支援を ありがとうございます

(順不同・敬称略)

合計 7,267,718円

- *活動支援金 7,215,718円
- *のぞみ21カンパ 2,000円
- *雪だるま3号カンパ 8,000円
- *東日本支援カンパ 34,000円
- *おまかせカンパ 8,000円

(2021年5月～2021年7月分の寄付内訳)

●口座受付寄付

榎本みつ枝 小野直子 梶原孝子 金只律子 小西由起 坂口登紀代 佐々木悦子 定永尊子 佐藤和子 里見照子 高橋武三 田中直子 種和子 佃あけみ 中村幸枝 西首延子 野村文子 林由実子 日高香織 古本募金きしゃぼん(運営) 嵯峨野株式会社 村上和代 諸隈啓子 矢野和代 和田伸夫

〔都道府県別〕

【東京都】 1名	【静岡県】 1名	【愛知県】 1名
【大阪府】 1名	【兵庫県】 2名	【鳥取県】 1名
【島根県】 4名	【岡山県】 1名	【広島県】 1名
【山口県】 2名	【福岡県】 37名	【佐賀県】 2名
【長崎県】 3名	【熊本県】 6名	【大分県】 5名
【宮崎県】 5名	【鹿児島県】 4名	

計85名(匿名含む)

編集後記

大学生です。前回に引き続き通信の編集に参加させて頂きました。コロナウイルスの感染拡大が止まらず不安な日々が続きますので、楽しいことを探す毎日です。みなさまも心身の健康を最優先にお過ごしくださいませ。(S・A)

●月々の定額寄付(マンスリーサポーターの皆さま)

相羽美香子 磯道綾子 一瀬和美 伊藤利恵 稲田照子 井上礼子 内野千鶴子 江原健一 延壽富美 大麻卓子 大久保伸子 大久保弘子 大崎知恵 太田昌子 大場満 小黒慈子 落石久子 片山富美子 金山涼子 紙森優子 亀川早苗 河上雅夫 川崎君子 川崎清美 川尻愛子 木村雅子 倉掛大輔 古賀輝洋 古賀尚子 財津耐代子 財津悠子 齊藤美代子 阪口香奈子 坂口馨子 佐々野也依 佐藤一江 佐藤進一 佐藤照子 白浜千恵子 末永浩子 首藤展子 高山知佐子 竹田恵子 武田孝子 田中京子 珍部千鳥 土持秀男・由利子・朱加 綱脇牧子 富永隆史 鳥井原桐子 鳥原良子 永尾ゆかり 中島幸代 中島まゆみ 永野沙智子 西首延子 丹羽道代 納富育代 深川哲臣 福井初子 福本勲子 藤本孝子 淵田三輝 古川恵子 松尾智恵子 松木幸美 松永庸子 丸山子より 水本敬子 三野桂子 宮野義治 村西美由紀 村松知子 室屋芳乃 山下澄子 山中陽子 山本亮輔 吉田美抄子 渡邊久美子

計113名(匿名含む)

貴重なご寄付をお寄せいただき、ありがとうございます。皆様よりお預かりしたご寄付は、チエルノブイリ被災者医療支援、福祉工房のぞみ21支援、東日本震災被災者支援、事務費用等にあってさせていただきます。

※通信へのお名前掲載をご承諾いただいた方のみ、ご掲載しております。

皆さまからのメッセージ(一部抜粋)

●いつもありがとうございます。●コロナお見舞いも読んで。●福島訪問レポート、胸にしみました。●ささやかな額ですが、どうぞ役立ててください。●生協グリーンコープでこちらのことを知りました。処分しようと思っていた本やDVDが少しでもお役に立てばと

思います。●よろしくお願いします●少しでもお役に立てばうれしいです。●ありがとうございます。美味しいコーヒー、毎回のしみにしています。●お役に立てば幸いです。●有機栽培ティモンコーヒーとても香りが良くおいしかったです。少しでも支援になればと思って注文しましたがおいしいのでまた注文したいです。●少しですが、これからも応援します。いつでも忘れませんよ。●よろしくお願いします。雪だるま4号のカンパを5,000円させていただきました。●挽きたてのコーヒーの香りがとてもいいです。ありがとうございます。●活動を応援しています。●大変な作業をお願いして申し訳ありません。何かの活動の手助けになると聞きました。お役立てください。●少しですが、お役に立てることと願いを込めて寄付させていただきます。よろしくお願いします。●放射能汚染による健康被害は、いつだれが被るか予測できないものです。医療の必要な方々、特に子どもたちが適切な医療を受けられますようお願い、ほんの少しですが寄付したいと思えます。●大切な活動をなさっている皆さん、ありがとうございます。コロナの中で、ますます大変だと思えます。よろしくお願いいたします。●被災者の方々の笑顔が早くみられる事を願っております。●古本がお役に立つなら大変嬉しいです。●長きにわたる活動ありがとうございます。チエルノブイリ被災者の方たちへの支援は私たちの未来にも大きく影響していくと思えます。活動が継続していくことを願っています。●もっと早く知っていればよかったですと思えます。少しですが、お役に立てると嬉しいです。●気にかかけ、関わるのが、現地の方々の生きる力につながると思っています。

※振込用紙は毎号同封しているもので、お振込みを強要するものではありません。恐れ入りますが、ご不要な方は処分をお願いいたします。

地球にやさしい再生紙と大豆インクを使用しています